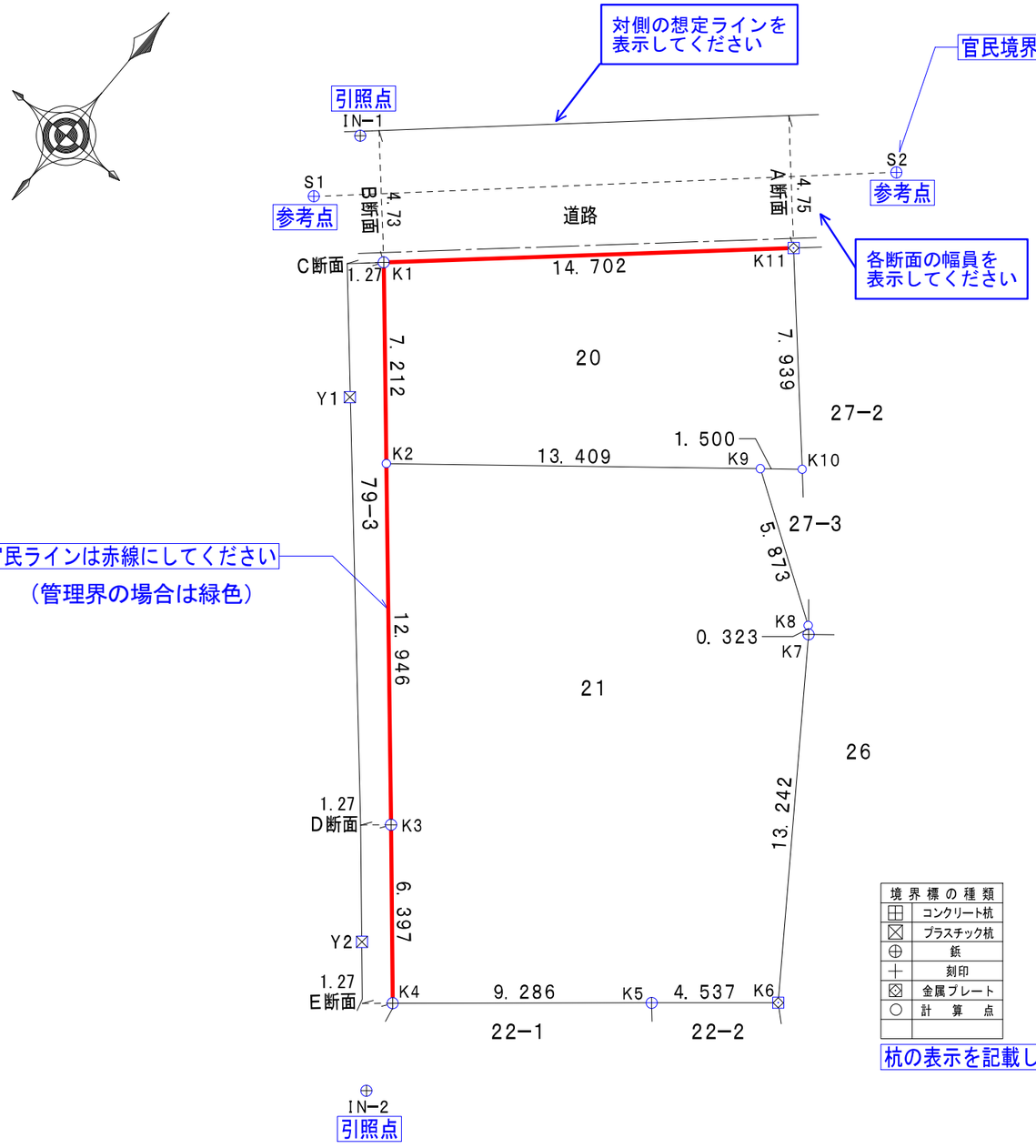
境界確認図書（作成要領）

市担当者から境界確認図書の提出の連絡が入りましたら、下記のとおりに、ホチキス留めと割印をした境界確認図書（位置図、公図写し、確定図、断面図、境界標の写真、境界立会承諾書）を2部提出してください。表紙は市が作成しますので不要です。

提　出　書　類　　（下記のとおりの順番で提出して下さい）

提出書類		詳細
1	位置図	申請地を赤色で着色すること。
2	公図写し	申請箇所を赤線表示すること。（管理界は緑線） 対側地側、合成図を添付すること。
3	確定図 断面図	境界の変化点毎に境界標を設置し、種別を記載すること。 （※不調となった場合、新設した境界標は撤去して下さい。） 境界復元の主旨により公共基準点とは別に引照点2点以上と、測量地全体の境界寸法及び座標求積表を表示すること。 引照点はコンクリート構造物に設置すること。 原則、世界測地系とすること。 現況道水路幅員をそれぞれ明記すること。 境界の変化点毎に断面図を作成すること。 断面図の縮尺は原則1/50程度とすること。 申請箇所の官民界は赤線、管理界は緑線にて表示すること。
4	境界標の写真	官民界の写真のみ添付すること。 境界標は民地内に設置すること。 遠景及び近景の写真を添付すること。
5	境界立会承諾書	作成者の原本証明をすること。



境界標の種類
コンクリート杭
プラスチック杭
鋲
刻印
金属プレート
計　算　点

杭の表示を記載してください

申請地以外の辺長及び座標値（引照点と参考点を除く）は記載しないでください

引照点は、マンホールには設置しないでください

写真　写真　写真　写真

境界標の写真（官民界のみ）を添付してください　別紙でも構いません

境界標は、民地内に設置してください

直角座標法求積表

地番	20			
NO	Xn	Yn	Yn＋1 － Yn－1	Xn・(Yn＋1 － Yn－1)
K1				
K2				
K9				
K10				
K11				
			合計	
			合計面積	
			地積	㎡

地番	21			
NO	Xn	Yn	Yn＋1 － Yn－1	Xn・(Yn＋1 － Yn－1)
K2				
K3				
K4				
K5				
K6				
K7				
K8				
K9				
			合計	
			合計面積	
			地積	㎡

確認した官民界の座標値を記載してください

引照点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
IN−1			
IN−2			

世界測地系であっても引照点の位置と座標値を記載してください。

参考点座標一覧表

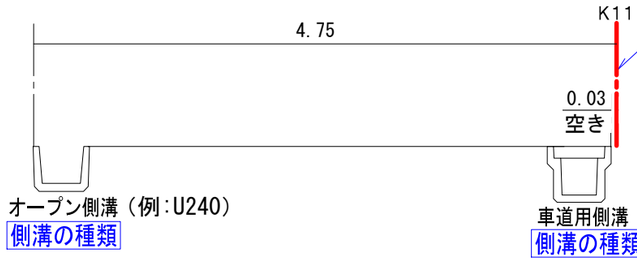
点名	X座標	Y座標	備考
S1			
S2			

官民境界の確認の根拠とした点は参考点として位置と座標値を記載してください

所在地番	一宮市〇〇町字△△２０番　２１番		
図面名称	確定測量図	縮尺	1：250
		作成者	一宮市●●町●丁目●番●号 土地家屋調査士 □□□□　職印
作成年月日	平成　年　月　日		

北側道路

A 断 面

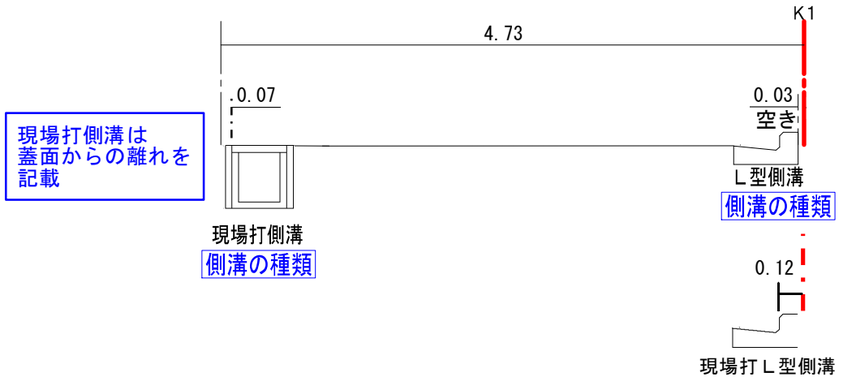


確認した官民界は赤線としてください
（管理界の場合は緑色）

側溝等の構造物からの寸法は
数値と状況（空き、被り等）を記載

側溝・水路は、種類を記載
不明な場合は、外寸を記載

B 断 面



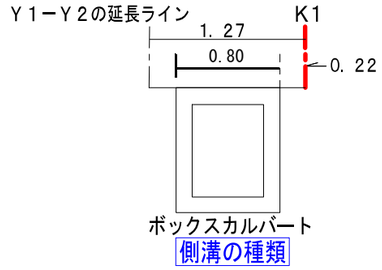
現場打側溝は
蓋面からの離れを
記載

L型側溝が現場打ちの場合
側溝の種類は、現場打Ｌ型側溝 と記載し、
立上りからの離れを記載してください

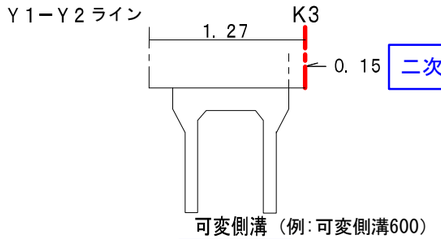
対側の想定ラインは、具体的に記載

西側水路

C 断 面

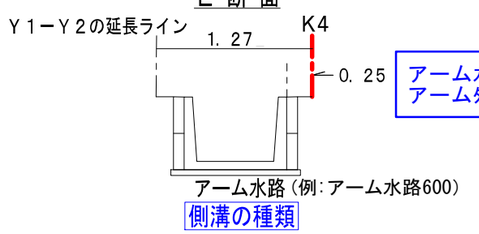


D 断 面



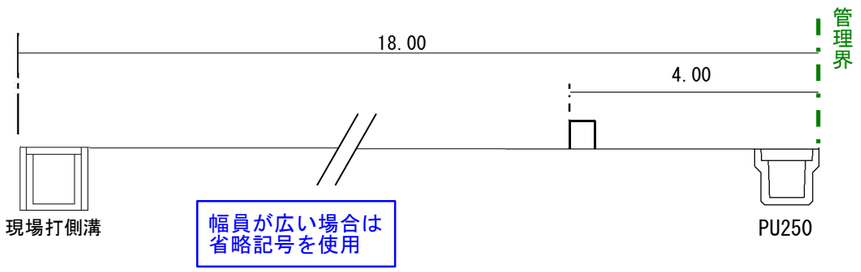
二次製品は 外面からの離れを記載

E 断 面



アーム水路は
アーム外面（板の内面）からの離れを記載

その他記載例



幅員が広い場合は
省略記号を使用

歩車道境界ブロックやガードレール等の
道路を構成する構造物がある場合は、
構造物の図示 と 歩道寸法を記載

縮尺は原則１：５０

所在地番	一宮市〇〇町字〇〇２０番　２１番		
図面名称	断 面 図	縮 尺	１：５０
		作成者	一宮市●●町●丁目●番●号 土地家屋調査士 □□□□　職印
作成年月日	平成　年　月　日		